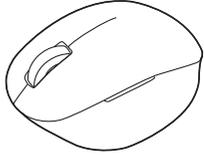


MA-WBL30シリーズ



MA-WBL30
006-000243
MA-WBL30RC
(MA-AD1)
006-000242

- 最初にご確認ください。
- マウス本体 1台
 - 超小型レシーバー 1台
 - 単四乾電池(テスト用) 2本
 - 取扱説明書 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本誌に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

目次

- はじめに
- 健康に関する注意
- 警告
- 対応機種・対応OS
- 接続手順
- 特長
- 各部の名称とはたらき
- マウスの準備(電池の入れ方、電源のON-OFF)
- 本製品をUSBポートに接続する際の注意(Windows用)
- Windows 8.1-8.1-Aパソコン使用時に、マウスを接続してもしばらく認識しない場合の対処法について
- マウスの接続(Windows用)
- マウスの接続(Mac OS X用)
- 「故障かな…」と思ったら
- 保証規定

1.はじめに

この度は、ワイヤレスブルーLEDマウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

2.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。
マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のパソコン操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないよう心がけてください。

3.警告

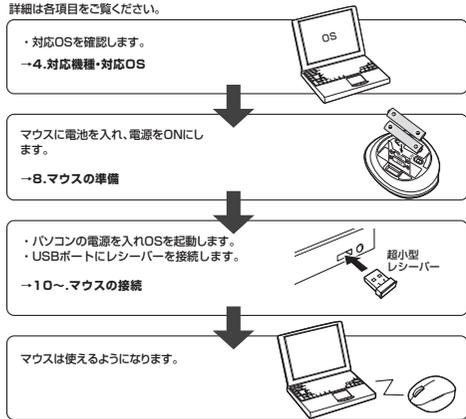
- テレビ・ラジオの受信障害について
本製品は、FCCの定めるクラスBのパソコン機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。
ご使用のパソコンシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のパソコン、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。
ご使用のパソコンシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組合わせてお試しください。
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しにくい位置を探してみてください。
●テレビまたはラジオから離れた場所にパソコンを設定し直してください。
●テレビまたはラジオとは別の電源供給線があるコンセント/パソコンを接続してください。
●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

4.対応機種・対応OS

- 対応機種
●Windows搭載(DOS/V)パソコン
●Apple Macシリーズ
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種
※Macシリーズでは、サイドボタンはご利用いただけません。
■対応OS
●Windows 8.1-8.1-Vista-XP-2000 ●Mac OS X(10.2以降)
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタン押し下げによる動作はサポートしません。
※Mac OS X 10.7(Lion)以降の場合、OSの仕様上、スクロール方向が上下反対になっている場合があるため、スクロールが逆になります。通常のスクロール方向へ設定したい場合は、「システム環境設定」→「マウス」→「スクロール方向:ナチュラル」にあるチェックを外してください。
※機種により対応できないものもあります。
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

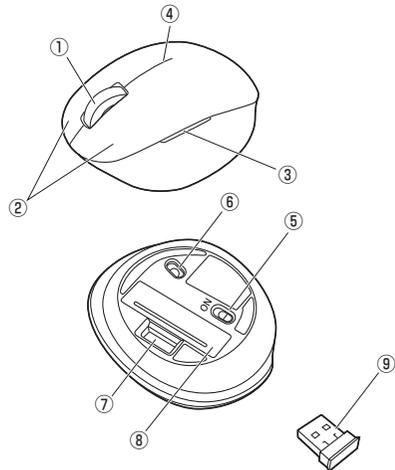
5.接続手順



6.特長

本製品は、2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのパソコン操作が可能となります。
また、本製品は、ブルーLEDセンサーエンジンを搭載しており、高い読取性能を実現し、光沢のあるデスク面でもマウスをモニター方向にスムーズな操作感を表現します。
本製品は15×18mmの超小型レシーバーなので、ノートパソコンに装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

7.各部の名称とはたらき(Macでは一部の機能がご利用いただけません)



7.各部の名称とはたらき(Macでは一部の機能がご利用いただけません)(続き)

①ホイール(スクロール)ボタン インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

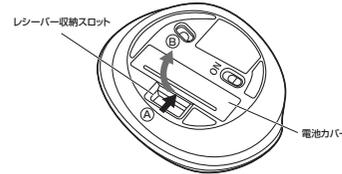
※カウント切替方法: ホイールボタンと右ボタンを3秒間長押しするとカウント切替ができます。800→1600→800カウントと切り替わります。

- スクロールモード
インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと、自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。
■ズーム
ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えらることで、「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

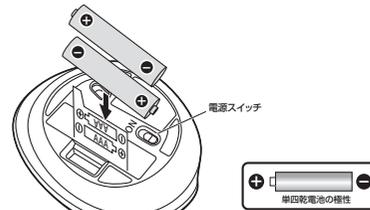
- 左ボタン・右ボタン 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行います。またポップアップメニューの表示も行うことができます。
- 戻るボタン Webブラウザで「戻る」の操作がスピーディーに行えます。(Windowsのみ)
- 電池残量LED 電池が入った状態で電源スイッチをONにした際、電池残量LEDがしばらくの間点滅し、電源がONになったことを表示します。マウスを操作中にLEDが点滅を続けた際は電池が少なくなっているので、すみやかに電池を交換してください。
- 電源スイッチ マウス本体の電源をON-OFFします。
- ブルーLEDセンサー 光沢のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を表現します。
- レシーバー収納スロット レシーバーを収納することができます。
- 電池カバー このカバーを外して、電池を入れます。
- 超小型レシーバー 15×18mmの極小レシーバーなので、ノートパソコンに装着した際の出っ張りもわずか8mm、装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

8.マウスの準備(電池の入れ方、電源のON-OFF)

1. マウス裏面の電池カバーを④方向に押しながら③方向に持ち上げ、取り外します。



2. 付属の単四乾電池を電池収納スロットに入れます。※正しい極性で入れてください。



3. 電池カバーを、取り外したときと逆の手順で閉じます。
4. 電源スイッチをONにすると、電池残量LEDがしばらくの間点灯します。



- ※マウスを動かしている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり、ブルーLEDセンサーが点灯しなくなったり、電池を交換してください。
- ※電池交換の際には、新品の単四アルカリ乾電池をご利用ください。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命が短くなります)
- ※電池交換の際はマウスの電源をOFFの状態で行ってください。
- ※空になった電池をマウス内に置いておくともれの原因になりますので、取出しておいてください。

9.本製品をUSBポートに接続する際の注意(Windows用)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず最初にUSBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

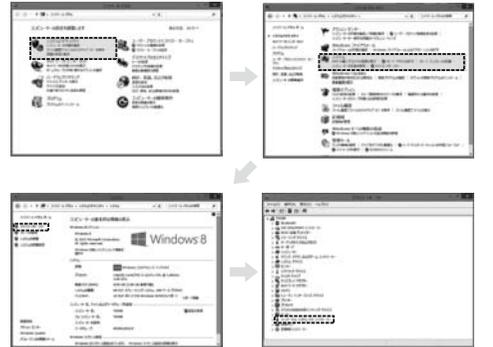
(Windows 8.1-8の場合)

タッチパネル操作の場合

「スタート画面(modern UI)」を開く→「メニューバー」(画面底辺の外から、指一本で画面内に向けてゆっくり指をスライドさせる)→「全てのアプリ」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」内のデバイスマネージャ

マウス(タッチパッド)操作の場合

「スタート画面(modern UI)」を開く→「スタート」メニュー内の何も無いところで右クリック→「スタート画面(modern UI)」をクリック→「スタート」メニュー内の「全てのアプ」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」内のデバイスマネージャ



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「i」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではファロットの状態でUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

(Windows 7-Vista-XPの場合)

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。

下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。
USBデバイスアイコンに「i」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。
一部の機種ではファロットの状態でUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

■BIOS上でUSBがdisable(無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。
通常BIOSの設定は「パソコン起動時にF1/F2を押すものが多いですが、詳細な設定については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

Windows 8.1・8/パソコン使用時に、マウスを接続してもしばらく認識しない場合の対処法について

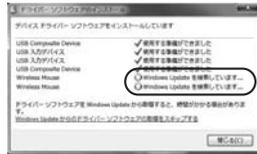
インターネットに接続されたWindows 8.1・8-7のパソコンで、マウスを接続してもしばらく認識しない場合があります。このような場合、初期USB機器接続時のドライバのインストール中、Windowsが最新ドライバを自動的に検索する機能が働いている場合があります。

■最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウ

最初に接続すると、タスクバー右下に下記のようなメッセージが出ます。(このウィンドウは、設定に関係なく表示されます。)



ウィンドウをクリックすると、ドライバのインストール状況が確認できます。ここで、「Windows Updateを検索しています…」と表示され、しばらく検索が続きます。



■解決方法

[1]使用されているパソコンのインターネット接続を無効にする。

ワイヤレススイッチがついている機器はスイッチをOFFにしたり、ケーブルを抜くなどでネットワークを切り離してください。

[2]Windowsのドライバインストール設定を変更する。

<Windows 7の場合>

(変更後は元に戻されることをお断りします。)

- ①「スタートメニュー」を開き、「デバイスとプリンター」を開きます。

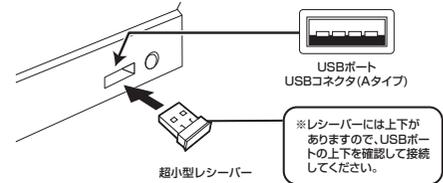


10. マウスの接続 (Windows用)

■レシーバーを接続

※注意: マウス用レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお薦めします。

- ①パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- ②レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。



- ③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

<Windows 8.1・8の場合>

ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。

<Windows 7の場合>

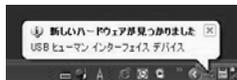
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」/「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

<Windows Vistaの場合>

タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」/「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

<Windows XP・2000の場合>

タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」/「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



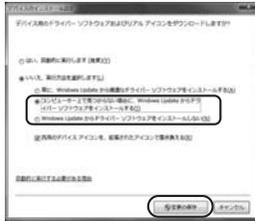
- ②使用しているパソコンのアイコンが出ますので、右クリックします。



- ③表示されるメニュー内の「デバイスのインストール設定」をクリックします。



- ④「はいえ」を選択し、「コンピューター上で…」が「Windows Updateから…」を選択し、「変更の保存」をクリックして完了です。その後、USB機器の接続を行ってください。



<Windows 8.1・8の場合>

- ①「アプリ」を開き、「コントロールパネル」を開きます。



- ②「デバイスとプリンター」を開きます。これ以降は、<Windows 7>の方法と同じです。



[3]Windows Updateの検索をスキップする。

ドライバインストール時の状態表示ウィンドウ内で、「(最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウを参照)Windows Updateからのドライバソフトウェアの取得をスキップする」をクリックします。

すると、自動的に検索がストップしますが、完了するまでに時間がかかります。場合によっては、解決できないことがあります。



11. マウスの接続 (Mac OS X用)

Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホールボタンをクリックすることによる動作はサポートしません。

- ①パソコンの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
- ②レシーバーをパソコンのUSBポートに接続します。
- ③ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
- ④これでマウスをご使用いただけます。

12. 「故障かな…」と思ったら

Q. マウス(マウスカーソル)が動かない。

1. マウスに電池が正しく挿入されているか確認してください。マウスの電源がOFFになっていないか確認してください。(「B. マウスの準備」参照)
2. レシーバーが正しくUSBポートに接続されているか確認してください。(「10. マウスの接続のレシーバーを接続」参照)
3. 付属の電池はテスト用です。電池が少なくなっているかもしれませんので、新しい電池に交換してください。(「B. マウスの準備」参照)

Q. マウスをしばらく操作しないと、マウスカーソルが動かなくなる。

1. 本製品は、電池の消耗を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させるには、マウスを動かすか、左右ボタンを押してください。

Q. マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下する場合があります。
2. 金属面の上では、ワイヤレス信号が反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
3. ワイヤレスLANや携帯電話などのワイヤレス環境の中で、このマウスは無線通信の問題を解決するため、電波干渉が発生した際自動的にチャンネルが切替わるという機能が付いています。チャンネル変更の際、マウスカーソルは少しの間動きが鈍くなる場合がありますが、チャンネル変更後はスムーズな動きに戻ります。これはチャンネルが自動的に切替わる際の症状でマウスの不良ではありません。万が一Auto Linkでも電波状況が改善されない場合は、レシーバーを押し直してください。
4. レシーバーをパソコンの背面など見えにくい位置に接続している場合は、別売りの延長ケーブル(KU-EN1など)を使って、レシーバーを見える位置に出してください。

Q. Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。そのため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

13. 保証規定

- 1)保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2)次のような場合は保証期間内でも有償修理となります。
 - ①保証書を提示いただけない場合。
 - ②所定の項目を記入いただけない場合。あるいは手書きを書き換えられた場合。
 - ③故障の原因が取扱上の不注意による場合。
 - ④故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
 - ⑤天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3)お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしません。
- 4)本製品を使用することで生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5)本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしません。
- 6)本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7)修理に依頼を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8)保証は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9)保証書は日本国内においてのみ有効です。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

■サポート情報 ■よくある質問(Q&A)
■ドライバのダウンロード ■各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから ▼サポートページへ

各ページを直接ご覧いただくこともできます。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

岡山サプライセンター 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-1-0 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
 東京サプライセンター 〒140-8566 東京都葛飾区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
 札幌営業所 〒060-0808 札幌市北区八雲西4-1-1 パストラルビルN8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990
 仙台営業所 〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-3 宮城仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
 名古屋営業所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-5-7 アラジヤビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
 大阪営業所 〒538-0003 大阪府東淀川区高島4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6389-5011 FAX.06-6389-5015
 福岡営業所 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-8-20 博多相互ビル TEL.092-471-6721 TEL.092-471-8078
 BE/AH/KT/DAU